

EU Indicators

欧州経済指標コメント：7-9月期英国GDP（速報値）

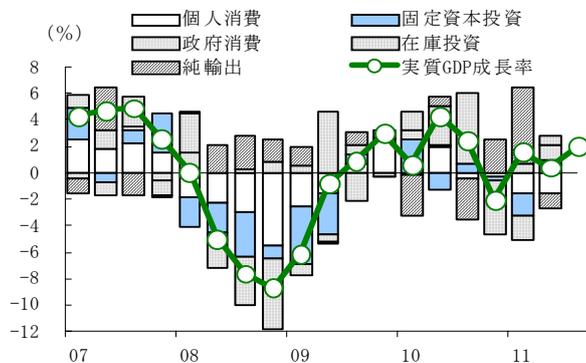
発表日：2011年11月2日（水）

～前期の下振れの反動に助けられたが、10-12月期の製造業活動は一段と下振れ～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

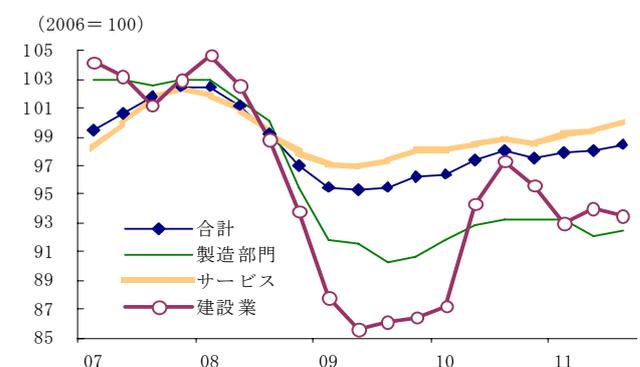
- 7-9月期の英国の実質GDP成長率の速報値は前期比+0.5%（同年率+2.0%）と前期の同+0.1%（同年率+0.4%）から加速、事前のコンセンサス予想（同+0.3%）を上回る成長ペースを記録した。但し、同期の成長加速は前期に下振れした反動による影響が大きい。前期の成長率は、①ロイヤル・ウェディングによる祝日の増加、②東日本大震災による部品供給への影響、③2012年のロンドン五輪のチケット販売開始、④4月の歴史的な温暖な天候など、数々の特殊要因によって下振れしていた。
- 業種別には、建設業が同▲0.6%と落ち込んだものの、製造業が同+0.5%と過去2四半期の落ち込みから回復に転じたうえ、サービス業が同+0.7%と底堅さを保っている（右図）。需要項目別の詳細は24日の改定値の結果を待たなければならない（左図）。
- 同日発表の10月の製造業PMI指数は47.4と、2009年6月以来の水準に低下した。7・8月に49.4と業況判断の分岐点である50割れとなった後、前月は50.8に改善したものの、再び50割れを記録。10-12月期の製造業活動の一段の下振れが示唆されるものの、7-9月期GDP統計での製造業活動は前期比+0.5%とPMI指数（7-9月期平均で49.9）が示唆するよりも底堅い。これまでのところ、10-12月期の成長率はどうか小幅プラスからフラット圏を維持している模様。

■英国：実質GDP成長率（前期比年率、%）



出所：英国連邦統計局

■英国：業種別GDP



出所：英国連邦統計局

■英国GDP（前期比年率<%>、括弧内は寄与度<%ポイント>）

	名目GDP	実質GDP	内需				外需			
			個人消費	政府支出	固定資本投資	在庫	輸出	輸入		
10/1-3月期	6.1	0.6	(3.7)	▲0.2	2.6	18.2	(1.4)	(▲3.1)	▲1.1	9.6
10/4-6月期	6.1	4.3	(3.6)	3.0	1.2	▲8.0	(2.9)	(0.7)	15.6	11.8
10/7-9月期	4.6	2.5	(5.5)	▲0.6	▲0.2	4.3	(5.4)	(▲3.0)	0.7	11.0
10/10-12月期	1.6	▲2.0	(▲4.4)	▲0.4	0.3	▲2.0	(▲4.1)	(2.4)	16.5	6.8
11/1-3月期	3.6	1.6	(▲4.2)	▲2.5	3.2	▲10.6	(▲1.8)	(5.8)	6.2	▲11.3
11/4-6月期	2.2	0.4	(1.6)	▲2.4	4.6	6.9	(0.8)	(▲1.2)	▲5.2	▲1.3
11/7-9月期	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-

出所：英国連邦統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。